

“地域新エネルギー”高槻市での取り組み

現在、私たちは石油などの化石エネルギーに依存した生活をしています。そのエネルギーの消費には地球温暖化の原因の一つである「二酸化炭素の排出」という問題がついて回ります。二酸化炭素の抑制には石油の使用を抑制する省エネ生活を行う、もしくは、自然エネルギーの活用を推進することがあげられます。

地球に負荷をかけないエネルギー(新エネルギー)の源である太陽光や風力、バイオマスなどの賦存状況は、各地域それぞれの自然環境や社会経済環境の特性により様々なため、地域それぞれの特性を調査しその調査結果から、各種新エネルギーの導入が可能であるか、また、地域特性に適った導入方法を検討する必要があります。これらの調査・検討の結果を踏まえて策定し、地域の特性や新エネルギーの特長を活かして新エネルギー導入・普及促進を図る指針とする「地域新エネルギービジョン」という取り組みの策定が全国で進められています。

高槻市では2007年2月に北摂7市1町の中で初めて環境政策の指針として「高槻市新エネルギービジョン」が策定されました(平成17年度末(平成18年3月現在)での地域新エネルギービジョン策定実施公共団体数は、全国で703ヶ所。大阪府内では5自治体)。平成18年度、新エネルギーの市域での導入・促進の指針となる「地域新エネルギービジョン」がNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの補助金交付を得て策定された高槻市では、地域新エネルギービジョンにそって、新エネルギー利用や省エネルギー対策の普及促進を図っており、その一環として環境にやさしい新エネルギーと省エネルギーを組み合わせた太陽電池式LED照明灯の設置が行われました。この照明灯は太陽光を電気に変えるため発電時に二酸化炭素を排出せず、従来の照明器に比べて消費電力が少ないLED(発光ダイオード)式の照明を使い少ない電力量で長時間の点灯が可能となっています。設置場所は、高槻市庁舎東側、JR高槻駅北側、緑が丘公園の3ヶ所です。

この照明灯設置は今後のエコ生活環境創造の実現であるとともに市民への環境啓発という役目もあります。日々町の景色が変わりつつあります。みなさんの町ではどうでしょうか。



高槻市では、「高槻市地域新エネルギービジョン」に基づき、太陽エネルギー利用の普及を図り、地球温暖化防止の推進を目指し、市民が自ら居住する住宅に太陽光発電・熱利用システムを設置する場合にその費用の一部を補助する制度が行われています。

なお、この補助制度は「高槻市環境基金」が財源となっています。この制度は平成21年度までの予定です。